

ホテルが飛ぶ環境をつくり続け30年

阿蘇ホテルの会が「肥後の水資源愛護賞」を受賞

この賞は、熊本の水資源を保全するため、熊本県・肥後の水資源愛護基金・熊日が主催しているもので、今回は創立20周年記念特別賞として過去の受賞者から優良12団体を表彰。その一つに阿蘇ホテルの会(湯浅陸雄会長ほか50人)が選ばれました。

継続して水環境を守っている功績が認められた阿蘇ホテルの会は、内牧地区花原川の草刈り・花の植栽による美観整備、旧阿蘇町7ヶ所でのホテルの自然繁殖活動・学習看板の設置など実施し、ホテル飛び交う昔の田園風景を少しずつ取り戻しています。今回の賞金を利用し環境のシンボルとして「田の神様」を12月24日建立し、人と自然の縁結びを祈願されました。



400人が参加し、阿蘇市人権集会

阿蘇中学校の生徒が製作したビデオを上映

12月4日から10日までの第58回人権週間に合わせて、12月7日、阿蘇いこいの村で阿蘇市人権集会が開催されました。YMCA赤水保育園児による赤水太鼓の演奏で幕をあげ、阿蘇中学校生徒が製作した人権啓発ビデオの上映、そして『原野の子ら』など数々の名作を生み出した中山節夫映画監督が「映画製作で学んだ人権」をテーマに講演を行いました。また、中山監督の映画『新あつい壁』の製作協力券の購入が3,000人に達したことが報告されました。



▲中山監督の講演のようす

宮地小と山田小が議会を見学

社会科学習の一環

12月11日、宮地小学校6年生57人及び山田小学校6年生14人が社会科学習の一環で12月の定例議会を見学しました。児童たちは傍聴席に座り審議のようすをノートに書いたり、絵にするなど熱心に聴き入っていました。児童たちは、「緊張した。議員さんのやりとりがすごかった。」など終始驚いていたようす。傍聴後一気に緊張感から開放されほっとしたようすでした。今回の見学を終えて、後日児童たちは議会のようすを感想文等にまとめました。



◀山田小6年の児童が熱心に議会を見学しているようす

お相撲さんがやってきた

波野西部保育園で園児とふれあう

11月29日、大相撲九州場所を終えた力士が波野西部保育園を訪問し、園児たちとふれあいました。訪れたのは式秀(=元小結・大潮)部屋の幕下・潮光山と序の口・哲光の2力士。横堀に住む後援会役員のお宅に力士が招かれたのに伴い、同区内の西部保育園の園児たちにも喜んでもらおうと急遽実現したものです。九州場所で勝ち越し、十両への昇格が期待される潮光山は、「ごひいきいただいた波野の皆様や、かわいらしい園児から大きな力をもらいました。初場所でもよい成績を残したいです。」と抱負を語っていました。なお、両力士は波野保健福祉センターにも訪問しデイサービス利用者の方々と交流しています。





2006 技能五輪全国大会

山口翔平さんが建具部門で銀賞

23歳以下の職人が日本一を競う「技能五輪全国大会」が10月20日、神奈川県で開催され、的石の山口翔平さん(榊ナスク勤務 22歳)が建具部門で銀賞に輝きました。競技は課題の格子戸の製作を、時間内にいかに正確に作るかというもの。山口さんは、熊本工業高校インテリア課を卒業後、内装関係の会社に就職。今大会出場が夢だったということで勤務が終わると練習に励み、その技で県代表権を獲得。この部門での県代表選出は30年ぶりの難関で、全国の舞台でも2位の快挙に「とてもうれしい。大会で同じ目標を持った全国の選手(職人)に会って刺激を受けた」と“ものづくり”への情熱を結果に出した山口さんでした。

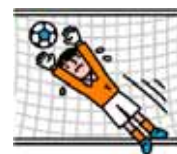
女子サッカーで全国の舞台へ

出場おめでとう！田口、住吉選手

田口紗良(碧水小6年)さんと住吉萌杏(内牧小5年)さんが所属するプルエタ熊本が、8人制の女子サッカー九州大会、第17回九州ガールズエイト(U-12)で勝利し、全国大会への出場を決めました。5歳からサッカーを始めた二人は小学校でも本格的にサッカーをやりたいと、阿蘇にまだ女子チームがないため菊陽町のプルエタ熊本に所属、現在週3回通って練習しています。将来の夢はもちろん「なでしこジャパン」。2月に福島県で開催される全国大会でもレギュラーで試合に挑みます。



▲住吉さん ▲田口さん



テーマは『生ごみからエネルギーを！』

第3回阿蘇市バイオマスセミナー開催

12月20日、大阿蘇環境センター未来館で第3回阿蘇市バイオマスセミナーが開催されました。現在ごみの処理に多額の費用が発生していることから、ごみを減らす解決策の一つとして、阿蘇地域における生ごみのメタン発酵利用に関する可能性について、山鹿市(産業振興課 柄原課長)、九州東海大学農学部 片野教授、NPO法人九州バイオマスフォーラム中坊主任研究員からそれぞれ講演がありました。

バイオマスエネルギー利用に関して広く理解を求めていくために、定期的にセミナーを実施していきます。



作業所「夢屋」が本を出版

『トライトーン』



作業所「夢屋」(地域活動支援センター・宮本誠一代表)が、福祉啓発を目的に独立行政福祉法人福祉医療機構が実施する高齢者・障害者福祉基金助成事業で小説を出版しました。題名は『トライトーン』。障害者の日常や想いを本音で描いた小説です。この小説は市内の図書館で貸し出しております。また、市内の中学校、高校にも設置していただきました。この機会にぜひ小説『トライトーン』を読んでみませんか。

※作業所「夢屋」は、障害児・者と共にパンづくりや販売をし、障害者の社会参加を図る作業所で、昨年10月から市から委託を受けて地域生活支援事業も開始しています。



▲12月4日、市役所に訪問し、「色々な形で福祉の現状・現場を伝えていきたい」と、市長に本を手渡しました。

熊本県農産物加工食品コンクールで銀賞を受賞

阿蘇町農産物加工部会の『阿蘇産大豆納豆』

高菜漬けや赤ど漬け、トマトケチャップ、豆腐等の加工品を製造・販売している阿蘇町農産物加工部会(村上ミツ子会長、20人)が、平成18年度熊本県農産物加工食品コンクールに『阿蘇産大豆納豆』を出品し、見事銀賞を受賞しました。この納豆は甘味のある阿蘇産大豆を原料にすべて手作りで、しかも添加物を一切使わないというこだわりようです。

大豆の産地である阿蘇市。「阿蘇に来たらこのおいしい納豆が食べられるというイメージを作りたい。ホテル・旅館等にも置いていただけるよう推進していきます。今後は会員一丸となって納豆製造・販売に力を入れ、大豆を材料とした加工品にも利用拡大し、阿蘇産大豆の消費拡大を図っていきます。」と村上会長。なお、この納豆は、はな阿蘇美などで購入できます。



※阿蘇町農産物加工部会は今年、はな阿蘇美の指定管理者として経営に携わっています。

『阿蘇産大豆納豆』
阿蘇産大粒大豆(フクユタカ)を100%使用。粒が大きく、昔ながらの味わいが好評。食べ方は、大豆本来の味を堪能するため、天然塩で食べるのがおススメ。学校給食にも採用され、子どもたちにも人気の納豆です。是非ご賞味ください。



阿蘇神社を飾るしめ縄の掛け替え

新しい大しめ縄を奉納

おおしめなわ

12月11日、一の宮町大注連縄伝承会(小代勝久会長、17人)が阿蘇神社の拝殿、楼門の大しめ縄の掛け替え作業を行いました。しめ縄の重さは拝殿110kg、楼門120kg。7月末から作業を開始したそうです。しめ縄は阿蘇神社の他、国造神社、坂梨馬場八幡宮などにも寄贈しており、また、通常やしめ縄も多数作っています。

このしめ縄造りは24年目になる伝統ある取り組みで、今年も1人が入会するなどしっかり保存・伝承されています。17人の会員のうち6人が女性です。男女問わずこの伝統あるしめ縄造りのメンバーに入会してみませんか。



火の用心！

火災の発生しやすい季節です

冬は火災が発生しやすい時期です。火の取り扱いには十分注意しましょう！12月25日には、りんどう保育園で、中通小学校少年消防クラブと園児たちの交流会が行われました。阿蘇市消防団第5分団や阿蘇広域消防本部に協力してもらい、年2回夏と冬に交流を行っているこの交流会で園児たちは、同クラブとともに手押しポンプを使って標的落としをしたり、救急車や消防車に乗ったりして、楽しみながらも消防について学ぶなど、火事に対する消防意識を高めていました。



▲ 消防訓練をしている園児たち

<お詫びと訂正>

先月号15ページに掲載した中で、阿蘇税務署長名が誤っておりました、正しくは佐官弘之氏です。お詫びいたします。

＜結果＞

優勝 山田A
準優勝 内牧
3位 阿蘇西A
最優秀選手賞
家興利昭(山田A)
優秀賞
中島開人(阿蘇西A)
市原紗和子(山田A)



区間賞

- 1区 中学男子 中島開人(阿蘇西A)
- 2区 小学男子 日田湧大(阿蘇西A)
- 3区 小学女子 山野美沙子(内牧)
- 4区 30代男子 井口秀明(坂梨)
- 5区 中学・高校女子 甲斐秀美(波野A)
- 6区 20代男子 中島慎治(南宮原)
- 7区 小学フリー 嶋野佑哉(山田A)
- 8区 中学・高校・20以下男子 首藤健介(波野A)
- 9区 40代男子 木村文彦(坂梨)
- 10区 一般・小学女子 市原紗和子(山田A)
- 11区 中学・高校女子 今村保奈美(碧水)
- 12区 50以上・小学男子 家興利昭(山田A)



204人が力走！阿蘇市民駅伝

17チーム中、優勝は山田Aチーム

12月6日、第2回阿蘇市民地域対抗駅伝大会が、今年は波野地区で開催されました。参加者は、校区を代表した幅広い年代層の選手たち。快晴の中、佐藤市長のピストルを合図にスタート。アップダウンの多いコース(全長21.11km)でしたが17チームとも健闘し見事なタスキリレーを見せてくれました。波野地区で初めての開催でしたが、沿道からもたくさんの応援をいただきました。次回は一の宮町のコースでの開催です、たくさんのチーム参加をお待ちします！



県立阿蘇高等学校が絵本を寄贈

宮地保育園でお話会も実施

阿蘇高校は文化祭の食品バザーの益金で、絵本22冊を宮地保育園に寄贈しました。12月25日、宮地保育園で贈呈式が行われ、同生徒会(7人)より園児代表者に絵本が手渡されました。当日は絵本寄贈とともに全園児にお話し会を実施。絵本を読んだり、歌を歌ったりと園児たちを喜ばせました。寄贈された絵本は貸し出しもされ、自宅に持ち帰って読むこともできるそうです。



1万人を魅了！

阿蘇クリスマスバルーンフェスティバル

バルーンイリュージョン&花火が内牧を彩る



12月23・24日、ふれあい水辺公園(内牧)をメイン会場に阿蘇クリスマスバルーンフェスティバル2006が開催されました。このイベントは地域で組織する実行委員会主催のもと、多くの市民・学生ボランティアの協力で運営されています。2日間行われた熱気球の競技飛行には、全国から23基が参加。色とりどりの気球が飛びたち、内牧の上空を彩りました。23日の夜は、バルーンイリュージョン&花火が今年もFMKラジオの生放送(県内一斉放送)で行われ、クリスマスソングにあわせバーナーの炎で19基の気球が点灯。花火も加わり、多くの観光客を魅了しました。

今年は、大切な人に想いを伝え、それと同時に花火を打ち上げるという企画「カルデラの中心で愛を叫ぶ～メッセージ花火～」が行われ、13組ものカップルたちが応募し、大好きな人へ愛の言葉と花火をプレゼントしました。

米づくり職人が集まり味くらべ

九州米サミットで中山さんが優秀賞

安全でおいしい米づくりの名人を決定する「九州米サミット2006」が、12月3日、山鹿市の水辺プラザかもとで開催され、これに出品した中山美智也さん(竹原)が、見事、無農薬部門で優秀賞に輝きました。予選は玄米を食味計、味見計で審査。本選は専門家の食味で審査。九州各県の美味しい米が集う中受賞した中山さんの米(品種ひのひかり)は、米ぬか・くず米・くず大豆などを肥料に、独自で開発した赤外線乾燥機を使ったこだわりの米。「阿蘇市には、うまい米をつくる人が何人もいるのだから、積極的にこのような大会に出場し、阿蘇の米の知名度を上げてほしい」と、米づくりのプロジェクトチームを立ち上げてはどうかとのアイデアも出されました。



▲ 12月18日、なみの高原やすらぎ交流館で、自分たちで栽培したそばで麺打ちを体験。「かけそば」にして、デイサービスのお年寄りたちに振る舞いました。

特産品の魅力を知ろう

栽培から商品加工までの一連を体験

波野中学校では1年生の授業に地元特産物に関わる体験活動を取り入れています。これは、市農政課が、次代の担い手に特産物への愛着と農業への理解を求め実施しているもので、生徒たちは特産の「そば」について、8月の種まきから草取り、収穫、そして商品加工までの作業を、保護者や神楽苑スタッフの指導で体験しました。「なぜ、そばが波野の特産になったのか」「そば栽培の苦労や、商品化することの努力・やりがい」などを知り、そばへの理解が深まりました。

ボランティア活動ありがとうございました!

<乙姫地区の地域づくりグループ「乙姫参加の会」の皆さん>

☆門松・しめ縄寄贈☆

乙姫地区の地域づくりグループ「乙姫参加の会」(藤田精一さん他7人)は、5年前から内牧駅に門松を設置し、駅利用者にも喜ばれています。今年は、地区老人会の有志もしめ縄をつくり一緒に飾りつけ、駅周辺のイメージアップに協力。訪れた人が記念撮影するほどの好評ぶりです。「乙姫参加の会」は、このほか「乙姫夏祭り」も主催し住民の交流の場をつくるなど、地域の活性化に貢献されています。

乙姫参加の会



<阿蘇一の宮ライオンズクラブの皆さん>

☆啓発看板を寄贈☆

阿蘇一の宮ライオンズクラブ(甲斐誠一会長)は、飲酒運転による事件が相次ぐ中、阿蘇地域では一切、運転者は飲まない、飲ませない運動を徹底し事故をなくそうと、人物大の啓発看板を一の宮町10ヶ所に設置し、飲酒運転撲滅を訴えています。看板は蛍光タイプで夜でもはっきり見えます。地域みんなで心がけていきましょう。

阿蘇一の宮ライオンズクラブ

